

ごみコミえべつ

平成27年9月
第53号

発行 江別市

お問合せ 環境室 廃棄物対策課 減量推進係

〒067-0051 江別市工業町14番地の3

TEL 383-4211 FAX 382-7240

ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gomi/>

ごみ出しは
朝9時までに
ごみステーションへ

生ごみダイエットレシピ掲載！
詳細は次ページにて！



ごみの出し方相談ダイヤル

☎ 384-5600

月～金曜日 9:00 ～ 17:00
土曜・祝日・年末 9:00 ～ 12:00

「分別の手引き」を読んで、ごみの出し方がわからない時にご利用ください。
耳や言葉が不自由な方は、FAXにてご相談をお受けします(FAX 385-7134)。

分別の手引き・ごみ収集日 カレンダーが新しくなりました

分別の手引き・ごみ収集日カレンダーが新しくなり、各家庭に配布しています。また、市内公共施設でも配布しています。

配布場所一覧

配布場所	住所
市役所本庁舎案内窓口	高砂町6
水道庁舎内証明交付窓口	萩ヶ岡1-4
市役所大麻出張所	大麻中町26-4
中央公民館（コミセン）	3条5丁目11-1
野幌公民館	野幌町13-6
大麻公民館（えぼあ）	大麻中町26-7
豊幌地区センター	豊幌686-10
江別市区画整理記念会館	朝日町11-12
野幌鉄南地区センター	東野幌本町62-1
大麻西地区センター	大麻沢町26-2
文京台地区センター	文京台7-4
大麻東地区センター	大麻東町13-11
元町地区センター	元町1-2
環境室廃棄物対策課	工業町14-3

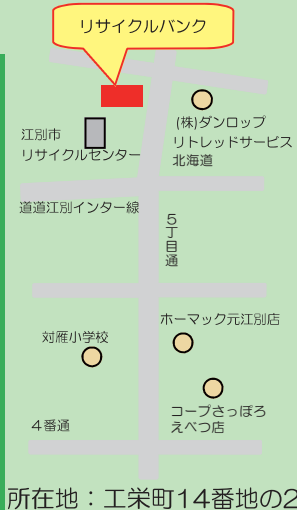
詳細：廃棄物対策課減量推進係（☎383-4211）

江別市リサイクルバンク 開館時間変更のお知らせ

リサイクルバンクは、平成27年10月から、月曜日の午後が休館となりますのでご注意ください。

リサイクルバンクの開館時間

開館時間	月曜日 9:30～11:30
	水～金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00
	第1～4土曜日 9:30～11:30
休館日	火曜・第5土曜日 日曜日・祝日 年末年始



所在地：工業町14番地の2

詳細：江別リサイクル事業協同組合（☎385-7124）
廃棄物対策課減量推進係（☎383-4211）

おいしく減らそう「生ごみダイエットレシピ」

大根の皮のきんぴら

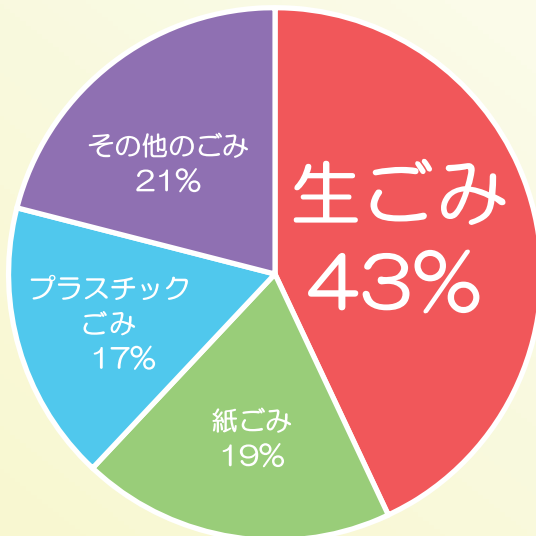
材料表（4人前）

・大根の皮	200g
（皮に身を厚めに残して切る）	
・人参の皮	少々
・ピーマン	少々
・豚肉薄切り	50g
・サラダオイル	大さじ1/2
・合わせ調味料	
酒	大さじ1
しょうゆ	大さじ1
砂糖	大さじ1/2
・白ごま	少々

- ①フライパンで「サラダオイル」を熱し、「豚肉」を入れ強火で炒め、肉の色が変わったら、食べやすく切った「大根の皮」「人参の皮」「ピーマン」を入れて炒める。
- ②「大根の皮」がしんなりしたら、「合わせ調味料」で味をつけ、さっと混ぜて、味が全体になじんだら、出来上がり。盛り付けの際に、白ごまをお好みでかける。



調理による生ごみ減量のメリット



平成26年度 江別市の家庭から出た「燃やせるごみ」の内訳

平成26年度に江別市の家庭から出た「燃やせるごみ」の内、約43%が生ごみでした。（左図）生ごみが多く発生する原因として、以下のものが挙げられます。

- ・**買いすぎ**
調理に使いきれずに捨てられたもの
 - ・**期限切れ**
賞味期限や消費期限が切れて捨てられたもの
 - ・**過剰除去**
調理のときに食べられる部分が捨てられたもの
 - ・**食べ残し**
食べきれずに捨てられたもの
- 生ごみは、食材の買い過ぎを避ける、食材の管理を徹底することによって減らすことができます。
- また、調理方法を工夫することによって、野菜の皮などは食べることもできます。調理による生ごみの減量には以下のメリットがあります。

生ごみ減量のメリット

- ・食材を無駄なく使うことにより、余分な食材購入を避け食材費を抑えることができる。
- ・生ごみとして捨ててしまう部分を利用することによって、献立を増やすことができる。
- ・ごみが減るので、ごみ袋の使用枚数も減る。
- ・ごみが軽くなり、ごみ出しも楽になる。

調理による生ごみ減量のコツ

普段捨ててしまっている野菜の切れ端でも、工夫することによっておいしく食べられます。

大根は、葉の部分や菜飯やふりかけに、さらに、皮はきんぴらなどにすることによって、無駄なく食べることができます。

また出汁を取った後の煮干しもかき揚げにすると、おいしく食べることができます。

「おいしく、楽しく」生ごみの減量に取り組みましょう。

市ホームページでレシピを紹介中！

<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gomi/29892.html>



食材を無駄なく使う工夫

食材	部位	調理方法
大根	葉	菜飯・ふりかけ・煮物の青み・油揚げなどと炒り煮
	皮	きんぴら・甘酢漬け
キャベツ	芯	味噌汁・スープ・漬物・炒め物
じゃがいも	皮	皮つきのまま茹でる・揚げる
生姜	皮	冷凍し、干して煮魚などに
セロリ 人參の葉	葉	佃煮・炒め煮・てんぷら
柑橘類	皮	ピールとして。冬みかんの皮は、刻んで干して保存
その他 野菜くず	—	スープ・味噌汁・餃子の具などに
昆布	—	角に切って冷凍保存し、まとめて佃煮に
煮干し	—	しょうゆ・生姜で下味をつけ、から揚げ・かき揚げに
かつお節	—	しょうゆ・酒・砂糖で味つけ、炒り煮してふりかけに

詳細：廃棄物対策課減量推進係（☎383-4211）

地域で取り組む集団資源回収

リサイクルは、市で行っている資源物収集だけではありません。自治会や学校などの各種団体では、自主的なリサイクル活動として、資源となるものをごみとして捨てずに資源物として回収する集団資源回収を実施しています。資源を再利用するために、皆さんで集団資源回収に取り組みましょう。

集団資源回収：品目と出し方の例

新聞紙 チラシも一緒にし、ひもで十字に縛るか袋に入れる。	雑誌 大きさをそろえて、ひもで十字に縛る。	ダンボール 折りたたんで、ひもで十字に縛る。
紙パック 水洗いし、開いて乾かして、ひもで縛るか袋に入れる。	紙箱類 ビニールなどを取り除き、折りたたんで雑誌と一緒に縛る。	びん ふたをはずし、水洗いして袋に入れる。
かん アルミとスチールに分け、水洗いして袋に入れる。	金属類 金属以外の部分を全部取りはずす。	布類 洗って乾かして、ビニール袋に入れるかひもで縛る。

各自治会・PTAなどごとに取扱いが異なります

回収品目、回収日などは、資源回収を実施している各自治会やPTAなどが独自に決めています。詳しいことはそれぞれの役員や回収業者などにお問い合わせください。



詳細：廃棄物対策課減量推進係（☎383-4211）

集団資源回収にはこんな効果が

各団体での効果

- 地域の実情に合った活動ができるとともに、活動を通じて地域の皆さんのコミュニケーションが深まる。
- 資源とごみの分別やリサイクル等に関する関心が高まり、ごみの減量につながる。
- 回収業者への売払代金が回収を実施している自治会やPTAなどの収入になるほか、市から回収量1kg当たり3円の奨励金が交付され、活動資金が得られる。

各ご家庭での効果

- 指定ごみ袋の使用枚数が減少するほか、市の資源物回収より、多くの品目を資源として出すことができる。

金属類ってどんなもの？

やかん、なべ、サッシ、鉄アレイ、自転車（タイヤ・チューブ・サドルを取って）、ガステーブル（ホース・電池を取って）、ストーブ（灯油を空にして）、車のホイール、卓上ガスコンロ等の金属製品が該当します。

注意：金属類を回収していない場合もあります。事前に確認してから出してください。

ガスカセット缶（危険ごみ）の出し方



スプレー缶の出し方の例

爆発する危険がありますので、穴は空けずに出してください！

スプレー缶、ガスカセット缶（「高圧ガスを使用している可燃性の製品」と記載のあるもの）は、以下のようにして危険ごみ収集日に出してください。

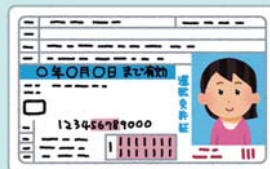
- ・ふたをはずす。
 - ・缶の中身はできるだけ使い切る。
 - ・穴を空けた場合でも危険ごみに出す。
- ※詳しくは「分別の手引き」をご覧ください。

詳細：廃棄物対策課減量推進係（☎383-4211）

環境クリーンセンターでの免許証等提示のお願い

環境クリーンセンターへ自己搬入できるごみは、江別市内のご自身の家庭から出たごみに限ります。自己搬入を行う際には、免許証等身分を証明するものの提示を求めている場合がございますので、ご協力をお願いいたします。

詳細：環境クリーンセンター（☎391-0422）



指定ごみ袋を無償交付します

対象者

※施設に入所されている方、入院されている方などは除く

- (1) 常時紙おむつを使用している方で次に該当する方
 - ① 要介護4または5の認定を受けている方
 - ② 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づく日常生活用具給付事業で紙おむつの給付を受けている方
 - ③ 申請月において2歳未満（1歳11か月まで）の乳幼児
 - ④ 身体障害者手帳1級または2級の交付を受けている方
 - ⑤ 脳性麻痺などによる運動機能障害で身体障害者手帳の交付を受けている2歳以上3歳未満児。
- (2) 生活扶助を受けている世帯の方（一人世帯と二人以上の世帯で交付枚数が異なります。）



交付枚数

20ℓの指定ごみ袋を1ヶ月につき10枚（生活扶助を受けている二人以上世帯は月15枚）

申請方法

申請書に必要な書類を添付のうえ、廃棄物対策課庶務係まで郵送、または介護保険課・福祉課・子育て支援課・保護課・市役所大麻出張所の窓口へ提出

交付方法

提出された申請書の内容を確認後、該当する場合は引換券（1枚につき20ℓ指定ごみ袋10枚と交換）を送付します。

詳細：廃棄物対策課庶務係（☎383-4217）

ごみステーションの管理について

ごみステーションは、利用者のみなさん（共同住宅については、入居者の方々または所有者・管理会社）で維持管理や清掃を行ってください。また、ごみ集積ボックスやネット（ごみの飛散防止およびカラスなどの被害予防に用いるもの）などは、市では支給および補助は行っていませんので、ごみステーションの利用者のみなさんでご用意ください。

詳細：廃棄物対策課指導係（☎383-4217）

